

令和 6 年 6 月 18 日現在

機関番号：32409

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2023

課題番号：18K13327

研究課題名（和文）治癒不能がん患者の心的外傷後成長を目指した集団精神療法プログラムの開発と普及

研究課題名（英文）Development and dissemination of a group psychotherapy program for post-traumatic growth in patients with untreatable cancer

研究代表者

石田 真弓（Ishida, Mayumi）

埼玉医科大学・医学部・教授

研究者番号：80636465

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,100,000円

研究成果の概要（和文）：がん患者にとって「治癒不能」を意味する「進行・再発」の精神的なストレスは、初発時よりも大きい。全身状態の確実な悪化が予測される中、精神状態を改善・維持は重要である。本研究では、これまでに我々が開発した「治癒不能がん患者の心的外傷後成長を目指した集団精神療法プログラム」を、研究期間中にのべ66回、のべ165名を対象に実施した。また、実施可能性と介入効果について対象者を通して検討しつつ、ファシリテーションなど運営側の改善すべき点についても詳細な検討を行った。本プログラムの構成はシンプルではあるが、重要なテーマについて話し合いを重ねることで、参加者に心的外傷後成長が生じることが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

身体的には治癒不能となったがん患者であっても、精神的な成長として「心的外傷後成長」の生起は明らかにされている。本研究では、治癒不能がん患者の集団精神療法プログラムの中で、どのような話し合いのテーマがよりその成長を生起させるのか、集団精神療法のグループダイナミクスの中で他参加者へと波及、増幅していくのかについて、明らかにすることができた。精神的な成長は、たとえ人生の終末期であっても誰にでも実現可能と考えている。本研究結果を通して、より多くの患者の精神的な成長を促すことができれば、患者本人だけでなく、家族、友人、社会へとその影響の広がりが想定され、その社会的意義は大きいと考える。

研究成果の概要（英文）：The mental stress of "progression/recurrence," which signifies "incurability" for cancer patients, is greater than that of the initial onset. With a predicted deterioration in the patient's overall condition, it is important to improve and maintain their mental state.

In this study, we conducted our previously developed "group psychotherapy program aimed at post-traumatic growth in incurable cancer patients" for a total of 66 sessions for 165 participants during the study period. In addition, we examined the feasibility and effectiveness of the intervention for the subjects, and also conducted a detailed study of areas that needed to be improved on the management side, such as facilitation. Although the structure of this program is simple, it was found that repeated discussion of important themes led to post-traumatic growth in participants.

研究分野：精神腫瘍学

キーワード：治癒不能がん 進行がん 集団精神療法 心的外傷後成長

1. 研究開始当初の背景

がん患者の50～60%は進行・再発によって治癒不能となり、死の転帰をたどる。よって、「治癒不能」を意味する「進行・再発」の精神的なストレスは、初発時よりも大きい。全身状態の確実な悪化が予測される中、精神状態を改善・維持することは患者の生活の質(QOL)を保つために重要かつ不可欠である。

当院では精神腫瘍科を設置し、がん患者に生じるさまざまな精神的問題に対応している。通常、「治癒不能」のような「悪い知らせ」を受けた後、日常生活適応度は著しく低下し、衝撃の時期・不安・抑うつ・適応の時期を経て約2週間で回復するが、回復に時間を要する場合には精神腫瘍科での診断と治療が必要となることがある。治癒不能がん患者の場合、身体症状の悪化に伴って、心理状態も悪化しやすく、衝撃・不安・抑うつ・適応の時期を何度も繰り返す。このような心理状態、精神的問題に対し、当科では2007年より毎月1回、臨床心理士と精神腫瘍医がファシリテーターを担う集団精神療法(以下、GP)を実施してきた。

なお、治癒不能がん患者を対象とした精神療法の必要性は国外でも認識されており、有効な方法としてMeaning-Centered Group Psychotherapy for Patients with Advanced Cancer(以下、MCGP)が開発されている。MCGPは週1回の7回プログラムとして構成されており、これまでに研究者が明らかにした本邦における治癒不能がん患者のニーズと現状に必ずしも即したものではない。がん患者の思う“望ましい死”にも文化差があるように、文化差には十分な配慮が必要である。その点、研究者が開発したGPプログラムは本邦の臨床の中から開発されて成果をあげているため、日本人に適した、より実用性の高い治療法と考えられた。

よって、治癒不能がん患者のニーズに即したGPプログラムの開発を目的とした基礎的研究を実施、その成果として「単回プログラム構成」を導入した。通常、MCGPのようにGPプログラムは複数回のセッションを組み合わせて提供されるが、これまでGPに参加した治癒不能がん患者には肺がんや膵がんなどの予後不良患者が多く、その多くは死亡の1か月前まで出席と欠席を繰り返しながらGPに参加しており、複数回セッションを設定しても完遂は困難と推測されたため、単回プログラムに繰り返し参加するようなGP形態とした。また参加対象を「原発部位」で限定せず、広く「治癒不能がん」として実施可能性を高めてきた。

さらに、GPプログラムでは“大切にしたいこと”“病気の意味”など、集団でありながらも個人の考えが強く反映される具体的な話し合いが行われ、集団精神療法のダイナミクス(グループダイナミクス)のみならず、個人精神療法的な側面も認めた。結果として、参加者には不安・抑うつ・軽減、さらには心的外傷後成長(Posttraumatic Growth; 以下PTG)が観察され、その成長が後の問題解決能力、ストレス対処行動により影響を与えている可能性が示唆された。

これまでの研究では、プログラムの構造や構成に主眼を置き、実施可能性を考慮してきた。ある程度プログラムが確立してきたところで、患者の精神面の動き、PTG生起に至るプロセスへの検討が必要となった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、以下の2点である。

① GPプログラムにおけるPTG生起に至るプロセスとGPの機能の解明

② GPプログラムの治療法としての、ファシリテーションなどの運営も含めた確立

本研究では、治癒不能がん患者に生起するPTGに対し、GPの機能としてグループダイナミクスが与える影響について明らかにする。また、これまでに明らかにしてきたPTGの個人内生起と、グループダイナミクスによるPTGの個人間生起プロセスを解明したうえで治療法として確立させる。

なお、本研究は普及までを目的としていたが、Covid-19により途中集団精神療法が実施不可能な期間が生じたこと、研修会の開催を感染状況等から現実的に計画できなかったことから、研究計画の変更と研究期間の延長を余儀なくされている。

3. 研究の方法

調査対象者に偏りが生じないよう、これまでに実施された集団精神療法について、逐語録を作成した。さらに、診療録から患者背景や、治療経過、病状の変化なども追いつつ、後方視的にその変化を確認し、質的手法を用いて解析を行った。

また、これまでに扱ったテーマについても、患者の発言を整理し、どのテーマでどのような話題につながるのか、どのような話し合いが行われるのかについても細かく分析を行った。

なお、本研究については現在もデータ収集中であり、解析途中である。

4. 研究成果

研究期間中には Covid-19 の影響もあり、集団精神療法自体の運営にある程度の影響があったが、開催方法の工夫などによって、研究期間中にのべ 66 回開催され、参加者数はのべ 165 名であった。集団精神療法実施の構成としては、精神科医・心理士・看護師 2 名を基本とし、支持医療科・腫瘍内科の医師やその他職種の参加もあり、多職種で取り組んだ。

GP 内で話し合われるテーマとしては、「健康の定義」「元気とは」「勇気を出したこと」「受け継いできたもの」「今の私だから、できること」「変わったこと、変わらないこと」「変えたいこと、変えたくないこと」「守りたいもの」「この病気から教わったこと」「この病気から考えたこと」「私の幸せ」「抱負」「伝えたいこと」「頑張ってきたこと」「夢」「未来に残したいもの」など多岐にわたった。時点として、過去・現在・未来におけるそれぞれのテーマについて考え、話し合いが行われた。病気になるまでの自身を振り返り、その後の病気がもたらした自身への変化について認識するなかで、根本的には変化していない自身に気づく様子が観察され、心的外傷後の成長につながる可能性が認められた。さらに、治癒不能がんをどのように生きるのかについて、自身をあるいは他参加者を通して考え、現在の自分にできることにも気づく。そして、ここから先の人生を何を大切にしながら、どんな希望を抱きながら、あるいは何を実現させながら生きていくのかについても話し合う中で、さらなる成長が垣間見られた。

これらはいずれも研究成果の概略であり、正確な分析については途中ではあるが、GP において話し合うテーマによって、心的外傷後成長が生起していることが確認された。また、ファシリテーションによって、その反応を他参加者らに増幅させることができた場面もあり、その方法も運営方法に反映させながら、GP プログラムの治療法としての確立を引き続き目指したい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計29件（うち査読付論文 29件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Yoshioka Akira, Sato Izumi, Hamaguchi Tetsuya, Horita Yosuke, Mihara Yoshiaki, Onishi Hideki	4. 巻 20
2. 論文標題 Wernicke encephalopathy in a caregiver: A serious physical issue resulting from stress in a family member caring for an advanced cancer patient	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 600 ~ 602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951521001784	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Ishida Mayumi, Sato Sho, Sato Izumi, Yoshioka Akira, Uchida Nozomu, Mizunuma Naoki, Hasegawa Kosei, Onishi Hideki	4. 巻 22
2. 論文標題 What can cause cancer patients to attempt suicide? Thiamine deficiency mimicking the symptoms of major depressive disorder	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 205 ~ 208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951523001128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sato Ryota, Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Sakimoto Takehiko, Yamaguchi Takefumi, Ooya Yoshitaka, Takahashi Takao, Onishi Hideki	4. 巻 21
2. 論文標題 Naldemedine-induced opioid withdrawal with restlessness as the predominant symptom in a palliative care setting	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 957 ~ 959
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951523000858	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Onishi Hideki, Yoshioka Akira, Sato Izumi, Uchida Nozomu, Ishida Mayumi	4. 巻 41
2. 論文標題 Akathisia, an Easily Overlooked Side Effect	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 4184 ~ 4185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JCO.23.00853	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Nozomu, Ishida Mayumi, Yoshioka Akira, Sato Izumi, Ito Hiroshi, Onizawa Nobuyuki, Sato Ryota, Mizunuma Naoki, Onishi Hideki	4. 巻 21
2. 論文標題 Can depressed cancer patients with a borderline thiamine concentration develop deficiency within a short time period?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 768 ~ 771
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951522001808	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Yabuno Akira, Hasegawa Kosei, Mizunuma Naoki, Takahashi Takao, Onishi Hideki	4. 巻 20
2. 論文標題 Opioid withdrawal syndrome developing after long-term administration of naldemedine	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 897 ~ 899
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S147895152200044X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Uchida Nozomu, Yoshioka Akira, Sato Izumi, Ishida Mayumi	4. 巻 41
2. 論文標題 Clinical diagnosis, outcomes and treatment of thiamine deficiency in a tertiary hospital	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clinical Nutrition	6. 最初と最後の頁 2052 ~ 2053
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clnu.2022.07.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Nozomu, Ishida Mayumi, Sato Izumi, Yoshioka Akira, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Ito Hiroshi, Onishi Hideki	4. 巻 24
2. 論文標題 The prevalence of thiamine deficiency among elderly nursing home residents: A cross sectional study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 148 ~ 153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jgf2.609	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Mayumi、Uchida Nozomu、Itami Kumi、Sato Izumi、Yoshioka Akira、Onishi Hideki	4. 巻 23
2. 論文標題 A case of Wernicke encephalopathy in a dementia caregiver: The need for nutritional evaluation in family caregivers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 104 ~ 106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jgf2.494	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Mayumi、Hiraoka Mie、Yaguchi Ayako、Sugano Koji、Adachi Nasako、Itoga Tomoko、Ishiguro Tomohito、Onishi Hideki	4. 巻 20
2. 論文標題 Naldemedine-induced opioid withdrawal syndrome with severe psychiatric symptoms in an advanced cervical cancer patient without brain metastasis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 445 ~ 447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951521001917	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki、Ishida Mayumi	4. 巻 23
2. 論文標題 What are the clinical signs of thiamine deficiency in elderly patients?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 71 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jgf2.479	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki、Ishida Mayumi、Uchida Nozomu、Yoshioka Akira、Sato Izumi	4. 巻 1505
2. 論文標題 Thiamine deficiency unrelated to alcohol consumption in high income countries: a literature review	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annals of the New York Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 5 ~ 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nyas.14693	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Yoshioka Akira, Sato Izumi, Hamaguchi Tetsuya, Horita Yosuke, Mihara Yoshiaki, Onishi Hideki	4. 巻 20
2. 論文標題 Wernicke encephalopathy in a caregiver: A serious physical issue resulting from stress in a family member caring for an advanced cancer patient	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 600 ~ 602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951521001784	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Mayumi, Taguchi Ryo, Sakaguchi Hirozo, Itami Kumi, Yoshioka Akira, Sato Izumi, Uchida Nozomu, Onishi Hideki	4. 巻 19
2. 論文標題 Reversible dementia due to vitamin B12 deficiency in a lung cancer patient: Relevance of preoperative evaluation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 377 ~ 379
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951521000481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Ishida Mayumi	4. 巻 68
2. 論文標題 Insufficiency of B vitamins with its possible clinical implications	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	6. 最初と最後の頁 1 ~ 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3164/jcbr.20-158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Sato Izumi, Uchida Nozomu, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Yoshioka Akira, Ito Hiroshi, Ishida Mayumi	4. 巻 75
2. 論文標題 High proportion of thiamine deficiency in referred cancer patients with delirium: a retrospective descriptive study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Journal of Clinical Nutrition	6. 最初と最後の頁 1499 ~ 1505
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41430-021-00859-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Nozomu, Ishida Mayumi, Sato Izumi, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Ito Hiroshi, Yoshioka Akira, Onishi Hideki	4. 巻 21
2. 論文標題 Exacerbation of psychotic symptoms as clinical presentation of Wernicke encephalopathy in an Alzheimer's disease patient	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of General and Family Medicine	6. 最初と最後の頁 185 ~ 187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jgf2.330	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshioka Akira, Sato Izumi, Onishi Hideki, Ishida Mayumi	4. 巻 75
2. 論文標題 Subclinical thiamine deficiency identified by pretreatment evaluation in an esophageal cancer patient	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 European Journal of Clinical Nutrition	6. 最初と最後の頁 564 ~ 566
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41430-020-00735-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sato Izumi, Onishi Hideki, Kawanishi Chiaki, Yamada Shuhei, Ishida Mayumi, Kawakami Koji	4. 巻 10
2. 論文標題 Neuroleptic malignant syndrome in patients with cancer: a systematic review	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMJ Supportive & Palliative Care	6. 最初と最後の頁 265 ~ 270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjspcare-2020-002200	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Uchida Nozomu, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Sato Izumi, Ito Hiroshi, Ishida Mayumi	4. 巻 17
2. 論文標題 Thiamine deficiency in the bereaved after cancer-related spousal loss	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 738 ~ 740
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S147895151900018X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Sato Izumi, Akechi Tatsuo	4. 巻 17
2. 論文標題 Thiamine deficiency observed in a cancer patient's caregiver	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 611 ~ 613
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951518001001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Okabe Takashi, Uchida Nozomu, Shirotake Suguru, Todo Maki, Oyama Masafumi, Ishida Mayumi	4. 巻 18
2. 論文標題 Thiamine deficiency in a patient with recurrent renal cell carcinoma who developed weight loss with normal appetite and loss of energy soon after nivolumab treatment	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 241 ~ 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951519000658	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Mayumi, Imanishi Jungo, Yazawa Yasuo, Sunakawa Yu, Torigoe Tomoaki, Onishi Hideki	4. 巻 14
2. 論文標題 "Phantom akathisia" in an amputated leg of a sarcoma patient: a case report	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BioPsychoSocial Medicine	6. 最初と最後の頁 表記なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13030-020-00178-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Uchida Nozomu, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Sato Izumi, Ito Hiroshi, Ishida Mayumi	4. 巻 17
2. 論文標題 Thiamine deficiency in the bereaved after cancer-related spousal loss	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 738 ~ 740
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S147895151900018X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Takahashi Takao, Furuya Daisuke, Ebihara Yasuhiro, Sato Izumi, Akechi Tatsuo	4. 巻 17
2. 論文標題 Thiamine deficiency observed in a cancer patient's caregiver	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 611 ~ 613
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951518001001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Ishida Mayumi, Uchida Nozomu, Shintani Daisuke, Nishikawa Tadaaki, Hasegawa Kosei, Fujiwara Keiichi, Akechi Tatsuo	4. 巻 17
2. 論文標題 Subclinical thiamine deficiency identified by preoperative evaluation in an ovarian cancer patient: Diagnosis and the need for preoperative thiamine measurement	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 609 ~ 610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951518000615	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ONISHI, H., ISHIDA, M., KAGAMU, H., MURAYAMA, Y., KOBAYASHI, K., SATO, I., UCHIDA, N. & AKECHI, T.	4. 巻 16
2. 論文標題 Wernicke encephalopathy without delirium that appeared as agitation in a patient with lung cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Palliative & Support Care	6. 最初と最後の頁 800-802
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951518000226.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi Hideki, Ishida Mayumi, Kagamu Hiroshi, Murayama Yoshitake, Kobayashi Kunihiko, Sato Izumi, Uchida Nozomu, Akechi Tatsuo	4. 巻 17
2. 論文標題 Wernicke encephalopathy in a lung cancer patient during treatment with nivolumab	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Palliative and Supportive Care	6. 最初と最後の頁 245 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951518000469	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Onishi H, Ishida M, Tanahashi I, Takahashi T, Ikebuchi K, Taji Y, Kato H, Akechi T.	4. 巻 16
2. 論文標題 Early detection and successful treatment of Wernicke's encephalopathy in outpatients without the complete classic triad of symptoms who attended a psycho-oncology clinic.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Palliative & Support Care	6. 最初と最後の頁 633-636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1478951518000032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 Hisayo Fukushima, Mayumi Ishida, Takao Takahashi, Hideki Onishi, Tetsuya Hamaguchi.
2. 発表標題 Construction of the mental support system to the patient who receives cancer genomic medicine.
3. 学会等名 the European Human Genetics Virtual Conference. (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hideki Onishi, Izumi Sato, Mayumi Ishida.
2. 発表標題 Thiamine Deficiency as a Misdiagnosed and Unrecognized Cause of Delirium in Referred Patients with Cancer.
3. 学会等名 International Society for Pharmacoeptiology Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mayumi Ishida, Nozomu Uchida, Naoki Mizunuma, Nobuyuki Onizawa, Kumi Itami, Hideki Onishi.
2. 発表標題 Subclinical thiamine deficiency in a cancer patient-bereaved family member induced by anniversary reaction
3. 学会等名 American Psychosocial Oncology Society (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Onishi H, Ishida M
2. 発表標題 Thiamine deficiency in the cancer-bereaved after the death of a spouse
3. 学会等名 The 25th World Congress of the International College of Psychosomatic Medicine (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ishida M, Takahashi T, Onishi H
2. 発表標題 Exploratory research on post-traumatic growth observed in group psychotherapy for advanced cancer patients
3. 学会等名 The 25th World Congress of the International College of Psychosomatic Medicine (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mayumi Ishida, Hideki Onishi
2. 発表標題 Communication with the Cancer Bereaved - Avoiding further distress.
3. 学会等名 World Congress of Psycho Oncology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hideki Onishi, Mayumi Ishida, Nozomu Uchida, Izumi Sato, Takao Takahashi.
2. 発表標題 The rate and treatment outcome of thiamine deficiency in cancer patients diagnosed with delirium: A preliminary study.
3. 学会等名 Palliative and Supportive Care in Oncology Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------